Vol.23　定番のダブルストップ・フレーズを弾いてみる　～その 3～

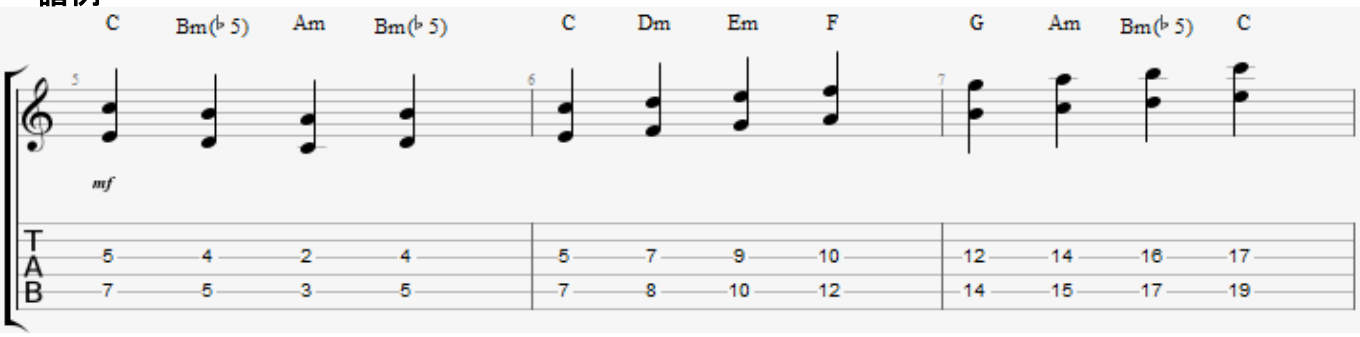
では、vol23、始めていきましょう。

ダブルストップの定番ポジション 3 回目ですね。

これまでと同じ様に、トップノート側をルートと見なした root+3rd の組み合わせを、今回は 3 弦と 5 弦で弾いて行きます。

早速、譜例に行ってみましょう。

譜例

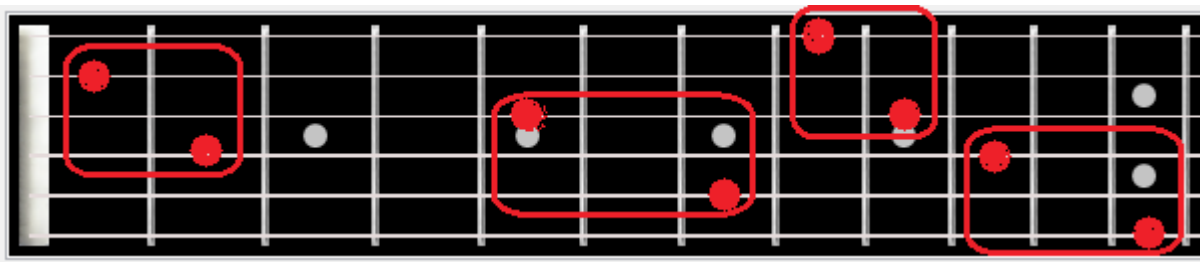


前回と前々回の譜例は、2～3 弦間をまたいでいたので全て同じ形でしたが、この譜例では、そこから 1 フレット広がった様な音の配置になっています。

今弾いているのは 3 弦+5 弦ですが、4 弦+6 弦で同じ事をしても、上記譜例と大元の形は同じになります。

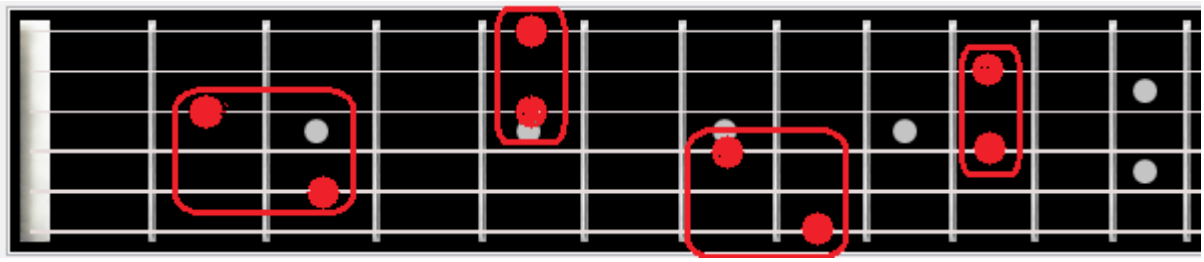
なので結局、この距離(インターバル)の音の組み合わせだと、視覚的なパターンとしては合計 4 種類と言う事ですね。

・root+M3rd の 2 種類(※赤丸は C 音をルートに見た場合の位置)



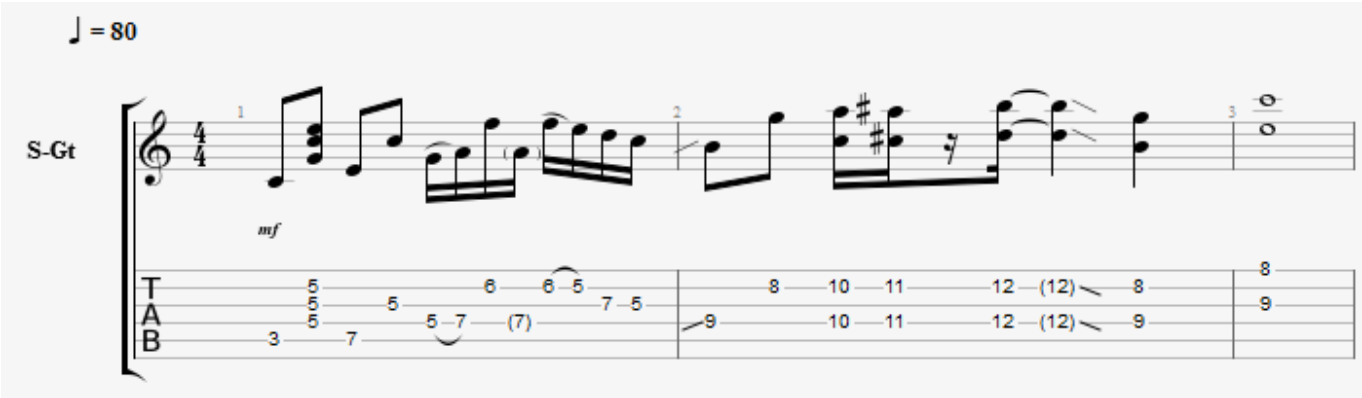
・root+m3rd の 2 種類(※赤丸は A 音をルートに見た場合の位置)

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



これらの音の位置関係を覚えておくと、スケール的なプレイとコード的なプレイの、どちらでも活かすことが出来ますし、咄嗟の判断も早くなるでしょう。

例えば、ダブルストップ系のプレイを、ここまで強調することはあまりないと思いますが、強引に使ったフレーズとしてはこんな感じです。



指弾きなどで、軽くミュートをかけたりしながら弾くと雰囲気が出るでしょう。

他にも、フィルイン的にサラッと入れても良いものですし、リードプレイでは、各音をバラバラに弾いて、スキッピング系のフレーズにも発展させられますね。

これ以外の知識や奏法と組み合わせたりして、自分なりのフレーズを作ってみて下さい。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved